

五條中心市街地地区まちづくり基本構想

平成28年2月22日

五條市

五條市の沿革・歴史（700年頃）

■井上内親王(いがみないしんのう)

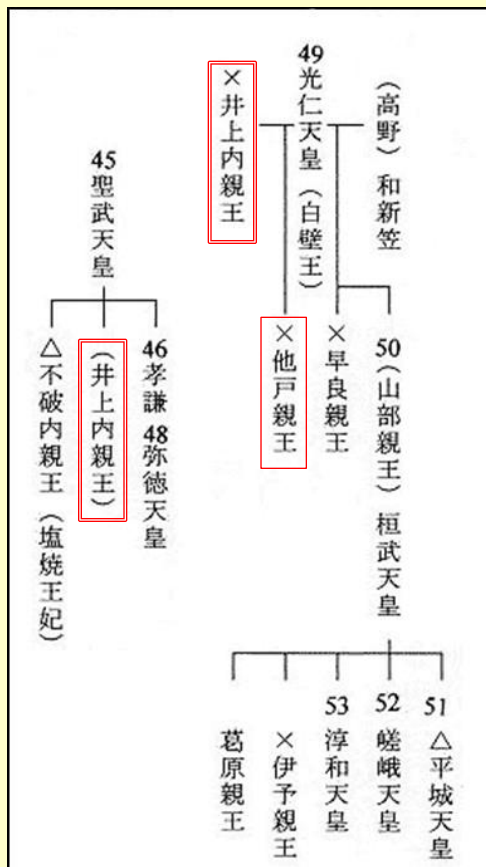
～皇后を追われ五條に移り住んだ井上内親王～

井上内親王(717－775)

第45代**聖武天皇**の第1皇女。母は県犬養広刀自(あがたのいぬかいのひろとじ)。第49代**光仁天皇**の皇后。

聖武天皇の第1皇女であり、光仁天皇の皇后であった井上内親王は、政権争いに巻き込まれ、**無実の罪**(光仁天皇、難波女王(光仁天皇の同母姉)を呪うまじないをした罪)により、御子・他戸親王(おさべしんのう)とともに**宇智郡(五條市)**に配流され、逝去。

井上内親王関係皇系図



数字：天皇即位順
・：太政大臣などになった皇族
×：非命に倒れた人
△：失脚した人

井上内親王関係年表

天皇	年	号	西暦	事	項
元正	養老	老元	717	井上内親王誕生	
聖武	神龜	龜4	721	井上内親王(5歳)斎内親王となる	
淳仁	天平	平6	727	井上内親王(11歳)伊勢神宮に出仕	
神德	天平	宝字5	734	山部親王誕生	
光仁	宝龜	元	761	他戸親王誕生	
			770	光仁天皇(62歳)即位 井上内親王(54歳)立皇后	
			771	他戸親王(11歳)立皇太子	
			772	井上内親王廢皇后・他戸親王廢皇太子(巫蠱の罪=天皇を呪うまじないをした罪)	
			773	10月 巫蠱の罪(難波女王を呪うまじないをした罪)で大和宇智郡役所の宅に幽閉される。井上内親王57歳、他戸親王13歳	
			775	4月27日(25日ともいわれる)母子逝去(暗殺される?)	
			776	井上内親王59歳、他戸親王15歳	
			777	2月 天皇600人の僧に金剛般若経を読ませる	
			777	12月 母子の墳墓を改葬し御墓と称させ、守家一畑を置く	
			778	1月 勅使宅志濃王・石川朝臣垣守ら下向、御墓改葬	
			779	藤原百川没す(38歳)	
桓武	延暦	元	782	桓武帝即位(45歳) 早良親王立皇太子	
			784	長岡遷都	
			785	早良親王 廢皇太子(9月) 淡路配流・逝去(10月)	
平安			794	平安遷都	
			800	7月 葛井王下向 井上内親王皇后に復す	
				早良親王 崇道天皇の追号を与えられる	
				靈安寺建立(御霊神社も祀られたと思われる)	

出典)まんがで見る五條市史 井上内親王編

■御霊神社

～政争に巻き込まれた井上内親王の霊を祀る～

井上内親王逝去後、都で天変地異が起こり、悪疫が流行したため、**井上内親王母子の怨霊の祟り**と恐れた朝廷は、勅使従五位下葛井(ちよくしじゅごいのげ ふじい)王を遣わし**靈安寺**を建立(800年頃)。同時期に**御霊神社**も創建された。

河南の吉原氏と河北の豪族牧野氏との争いを契機として、御霊本宮から10ヶ所に御霊神社が分祀さる(1238年)。更に宇智郡各地に勧請され、御霊信仰が広まる。

現在、五條市内に23ヶ所の御霊神社がある。



御霊神社本殿
(国重要文化財)



行祭事

1月1日 歳旦祭

4月第4日曜(隔年開催=西暦偶数年に開催)

太々神楽祭(井上内親王、他戸親王の命日の祭り) 餅まき

10月9日 節句祭(井上内親王と火雷神星の対面の祭り) 餅まき

10月第4日曜と前日 秋季例祭、御旅所例祭、当歳児御神楽、天平行列(平成29年に井上内親王生誕1300年祭を同時開催の予定)

11月23日 新嘗祭

「五條市まちづくり基本構想」（２）

五條市の沿革・歴史（１３００年頃）

■南朝と賀名生

五條市西吉野町賀名生は、**後醍醐天皇**が1336年、吉野へ向かう途中に滞在した地。

1348年、南朝の本拠地の吉野山が焼き討ちにあうと**賀名生に行宮(あんぐう)※が定められる**。その3年後、北朝の天皇が一時的に南朝に降伏。

数か月の間、**南朝は唯一の朝廷となり、賀名生は都として位置付けられた**。南北朝時代に河内や摂津などに遷都されたものの、賀名生は行宮の拠点として位置付けられた。

なお、1863年8月には、明治維新の魁となった尊王攘夷派の志士たち「**天誅組**」が賀名生皇居跡を訪れた。

南朝と西吉野の歴史年表

できごと	西 暦	年 号 () 北朝年号	西吉野のできごと
大塔宮護良親王(後醍醐天皇皇子)誕生	1308	延慶元年	 後醍醐天皇
文保の和談(持明院統と大覚寺統の両統迭立を定める)	1317	文保元年	
後醍醐天皇(大覚寺統)即位、護良親王出家(尊愛)	1318	〃 2年	
正中の変(後醍醐天皇の第1次討幕計画)	1324	正中元年	
護良親王、天台座主となる	1327	嘉暦2年	
元弘の変(後醍醐天皇の第2次討幕計画) 楠木正成率兵、後醍醐天皇、笠置寺へ逃れる 護良親王、比叡山を脱し大塔村へ。 光厳天皇 (持明院統)即位	1331	元弘元年	
後醍醐天皇、隠岐に配流、護良親王、吉野山に入る	1332	〃 2年	
1月 幕府軍、大挙して吉野河畔に殺到、護良親王高野山へ 閏2月 後醍醐天皇、隠岐脱出 5月 足利高(尊)氏、六波羅探題を、新田義貞、鎌倉を攻略 (鎌倉幕府滅亡) 6月 後醍醐天皇、帰京	1333	〃 3年	
1月 建武政権成立 10月 護良親王、武者所に拘引され、11月鎌倉に送られる	1334	建武元年	
7月23日 中光代の乱(北条時行の乱)、護良親王殺害 10月 足利尊氏、後醍醐天皇に叛く	1335	〃 2年	
1月 足利尊氏入京。敗れて九州へ敗走 5月 足利尊氏再び東上。湊川の戦いで楠木正成戦死 8月 足利尊氏、光明天皇を擁立(北朝) 10月 足利尊氏、後醍醐天皇を花山院に幽閉 11月 足利尊氏、幕府を開き、『建武式目』を制定 12月 後醍醐天皇京都脱出。23日穴生(賀名生)着 同28日吉野山へ入る 「南北朝時代のはじまり」	1336	延元元年	後醍醐天皇、穴生に入り、堀家着 吉野山蔵王堂をはじめ諸堂が焼討ちされ灰燼に帰す 9月初旬、後村上天皇、穴生着。華嚴院御所の建立 8月 頼野定親、没 後村上天皇、穴生より北朝の崇光天皇の尊位を宣する 12月23日 北朝の「三種の神器」を取戻す この年の暮から、翌年の正月にかけて京都の公卿ら、 <u>穴生に参</u> <u>謁して叙任される者多く、名実ともに帝都となる</u>
	1348	正平3年 (貞和4年)	
	1350	〃 5年 (観応元年)	
	1351	〃 6年 (観応2年)	

※天皇が外出したときの仮の御所

出典)五條市HP

■堀家住宅 賀名生皇居跡

後醍醐天皇が吉野へと向かう道中に立ち寄ったといわれる住宅。
現在は国の重要文化財に指定され、南朝三帝の**行宮となった賀名生皇居跡**として残されている。



出典)五條市観光協会HP



出典)五條市観光協会HP

■賀名生の里歴史民俗資料館

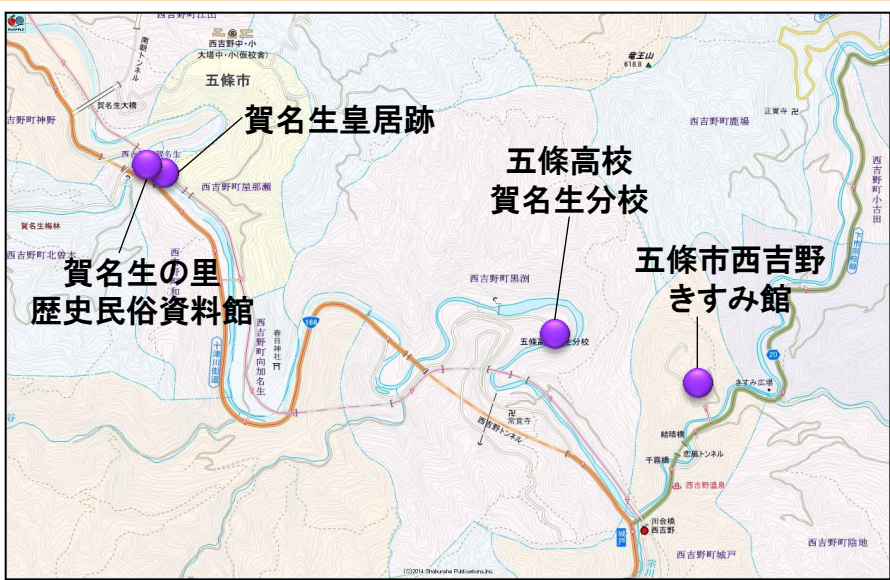
平成16年9月にオープン。
後醍醐天皇とゆかりのある品など西吉野と南朝のつながりを感じることができる資料や天誅組に関連する資料を展示。
また、農業や林業等の民俗資料を展示し、**昔の人々のくらしを探ることができるコーナー**を設置。 さらに、南朝の行宮がおかれていたころの**天皇と村に住む人々との交流物語を放映するシアター**を設置。



出典)五條市観光協会HP



出典)五條市HP



○ 沿革・歴史的背景から西吉野地域は南北朝時代の日本の中心地であった。

「五條市まちづくり基本構想」(3)

五條市の沿革・歴史(1800年頃)

交通の要衝

五條市には、和歌山につながる「**紀州街道**」、大阪につながる「**河内街道**」、奈良につながる「**下街道**」、三重につながる「**伊勢街道**」、五條市を南北に貫く「**西熊野街道**」が存在。

また、かつて水運で盛んであった**吉野川**があり、交通の要衝として古くから**多くの人々や文化の往来を育んできた天領の町**。

紀州藩の参勤交代や高野山詣り、大峯山詣りなど四方の旅客が行き来し、吉野川を利用する水運の便が良く、**交通の中心地**として物資が五條に集まり、宿場町、市場町としての**近世の五條のまちが確立**。



南和地域の政治的中心地

市の中心部に代官所(五條代官所、野原代官所)が設置されるなど、**南和地域の政治的中心地**としての役割を果たしてきた。

五條代官所跡長屋門



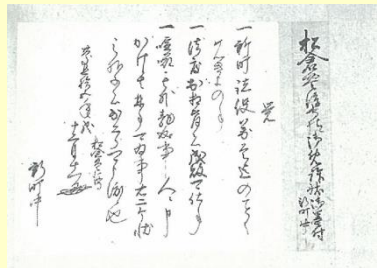
H27/7/24撮影

松倉重政と南和地域の商業的中心地

「五條新町」の基礎を築いた松倉重政。慶長5年(1600年)の関ヶ原の戦いで徳川家康に功績を認められ、**一万石の大名として二見城に入城**。

その後、城下町として「五條新町」を創設する際、**商人をまちに招き入れるため「諸役免許(諸税免除)」の免許状を新町の町人に宛てて公布し、現在の「五條新町」の礎をつくる**。

松倉重政免許状



出典)常設展 五條の歴史と文化

重要伝統的建造物群保存地区

紀州街道筋の五條新町地区には古い町並みが存在し、建築年代の判明している民家としては**日本一古い民家**が残り、歴史的町並み保存などが進められている。

当該地区は「伝統的建造物群が全体として意匠的に優秀なもの」と認められ、「**重要伝統的建造物群保存地区**」に選定(文部科学省文化庁H22.12.24)。

出典)五條市HP



日本最古の民家
栗山邸(重要文化財)



中邸
(奈良県指定文化財)



栗山邸
(五條市指定文化財)

明治維新発祥の地

五條市は**明治維新の先駆けとなった天誅組義拳の地**であり、市内各地に史跡などが残る。

天誅組出発の図

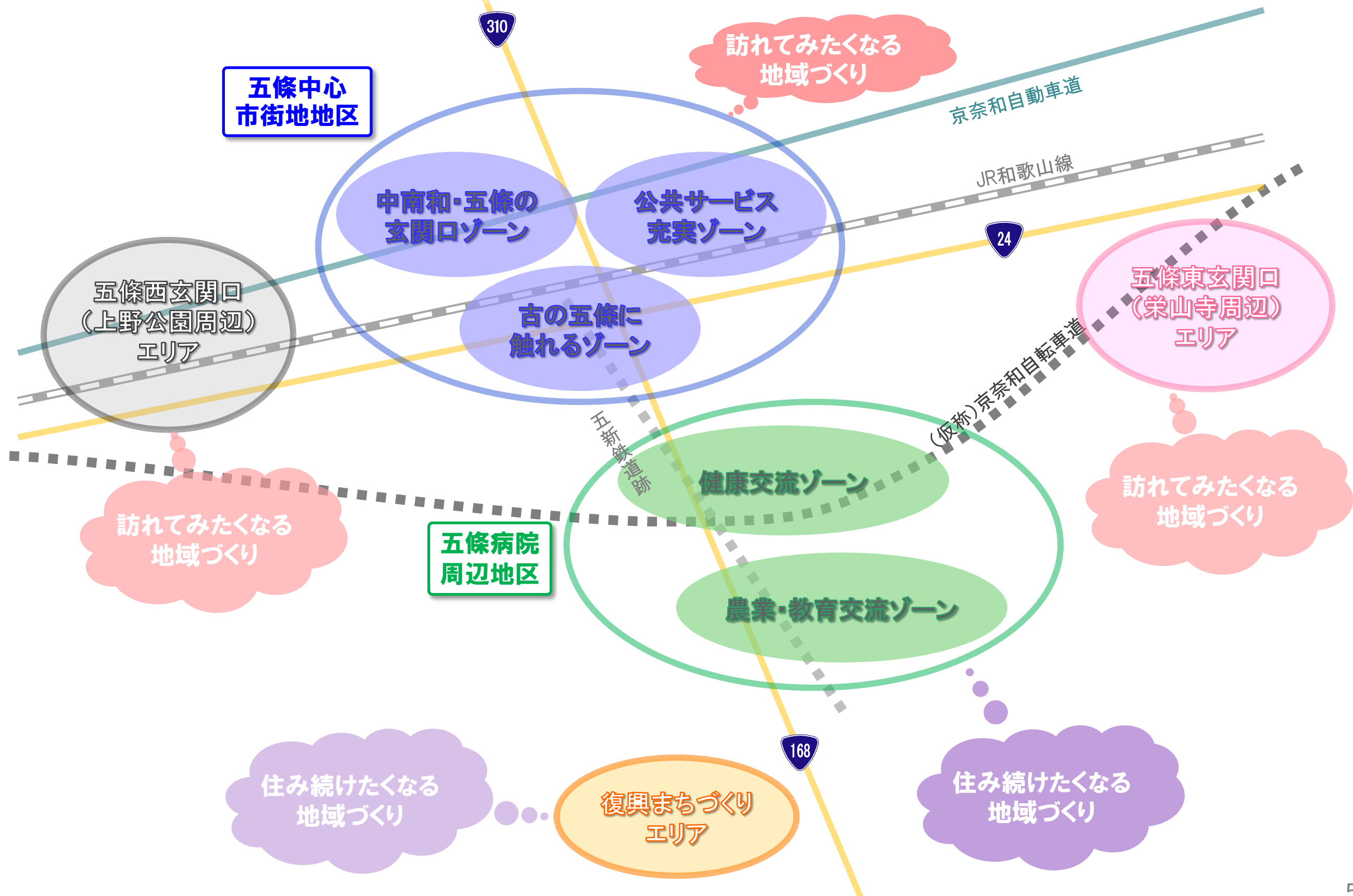


出典)五條市HP

○ 沿革・歴史的背景から五條市は歴史の交差点であり、市役所周辺(中心市街地)及び病院周辺は五條市の2大拠点であると言える。

■ 五條市のまちづくりイメージ

【テーマ】 豊かな自然と歴史が織りなすなごみとロマンとふれあいの創造都市



■ 五條市まちづくり基本構想の基本方針

目 的

五條市のブランド力を受け継ぎ、さらに磨き高めることにより、「五條中心市街地地区」「五條病院周辺地区」など、各地区を魅力ある地域へと導いていくことを目的として、基本的な考え方や今後の重点的な取り組みをとりまとめるものである。

基本方針

市・県・民間団体などが、協働で各種課題に取り組み、解決に導くことで、さらなる五條市の輝きが放たれるように努めるものである。

基本方針の実現に向けた

3つの柱

維 持

① ブランド＝価値・魅力（維持しつつ、後世に残し、受け継いでいく価値・魅力）

活 用 ・ 改 善

② アイデンティティ＝個性（価値・魅力を活かし、さらに磨き高めていくことにより、新たに引き出していく個性）

取 組 体 制

③ パートナースhip＝協働（価値・魅力・個性を共有し、目標に向かって取り組む協働）

○ 対象エリア

- ・ 五條中心市街地地区
- ・ 五條病院周辺地区

五條中心市街地地区の概要

上位計画における位置づけ

①第5次五條市総合計画

- ◆中心都市拠点…JR五条駅周辺の既成市街地周辺を中心都市拠点とし、行政施設や商業サービス機能の集積や、公共交通機関のターミナル機能の強化に努め、市のみならず、南和地域全体の拠点としてのさらなる都市機能の充実を図る拠点。
- ◆観光交流拠点…本市における自然、歴史や温泉等の魅力を観光客に様々な形で提供する地区を、観光交流拠点と位置付け、観光客が何度も訪れたいと感じるような施設整備や情報発信機能の充実、観光客の受け入れ・宿泊機能等の強化を各拠点間の連携を図る拠点。
- ◆大規模住宅整備ゾーン…本市の北部にある住宅地を中心に、大規模住宅整備ゾーンを設定し、人口増を目指した住宅開発を促進するゾーン。

②都市計画マスタープラン

- ◆中央地域…五街道をはじめとして古くから広域交通が結節する中心地としての歴史・文化と、清流吉野川とのふれあいを守り育てるとともに、多様な都市機能の集積を進め、五條の都市拠点づくりをめざす。
- 【まちづくりの基本方針】
 - 魅力ある都市拠点づくり
 - 五條の歴史・風土を生かしたまちなか観光、体験型観光の振興
 - 安心で安全な市街地環境の充実
 - 国道や南北方向の幹線道路の整備
 - 吉野川の自然環境・景観の保全

- 【対象地区に関連する主要なまちづくりの取り組み】
 - 賑わいづくりによる商業・業務地の活性化
 - 五條新町周辺の歴史資源、水辺空間を活用した街なか観光の活性化
 - 旧五條高校跡地における南和地域の拠点施設等の誘致検討
 - 南北方向の幹線道路（構想）の検討

- ◆西部地域…金剛山麓の緑豊かな自然環境に囲まれた住環境の保全と創造を図り、山麓の自然環境に囲まれた快適な住宅地づくりをめざす。
- 【まちづくりの基本方針】
 - 自然環境と共生する良質な住環境の保全と形成
 - 日常生活を支援する地域拠点づくり
 - 緑豊かな金剛山麓の保全と活用
 - 五條・五條西インターチェンジ周辺での新たな都市機能の誘導

- 【対象地区に関連する主要なまちづくりの取り組み】
 - IC周辺での都市機能誘致の検討
 - 国道310号の機能強化と沿道景観の整備

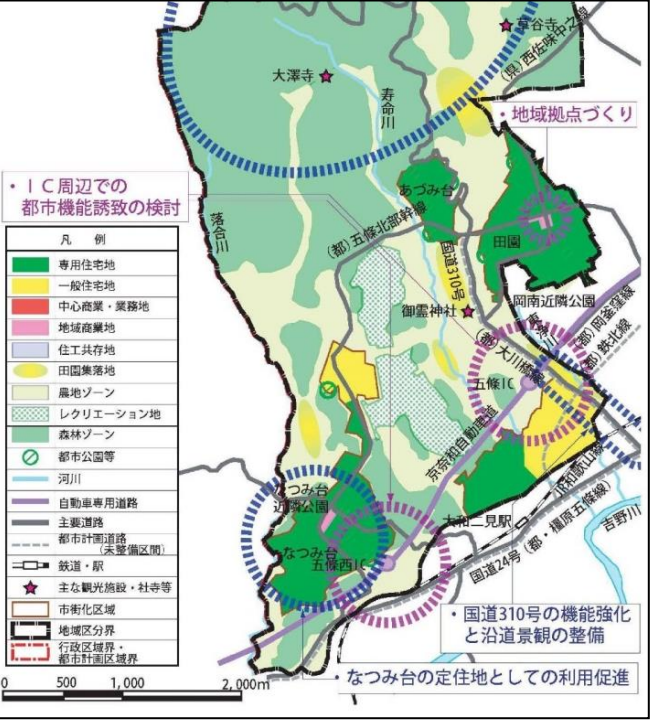
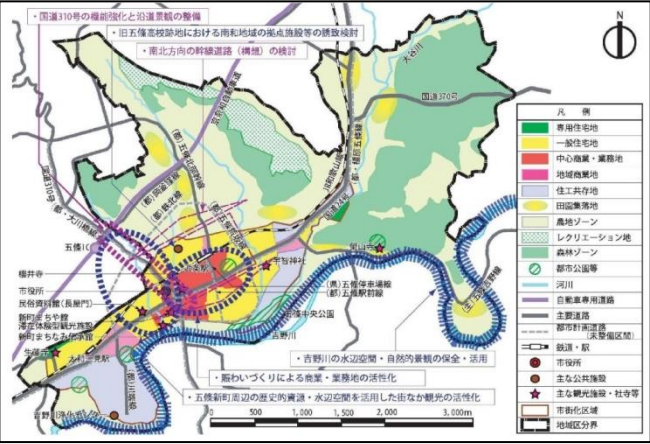
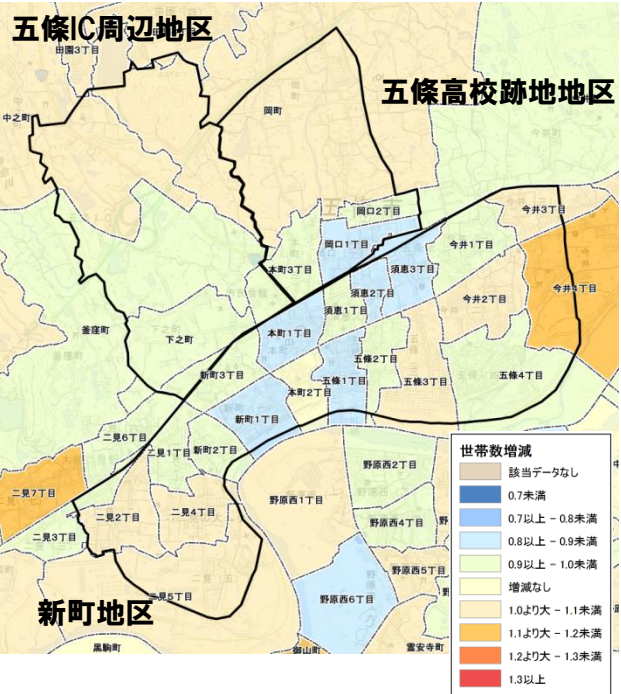
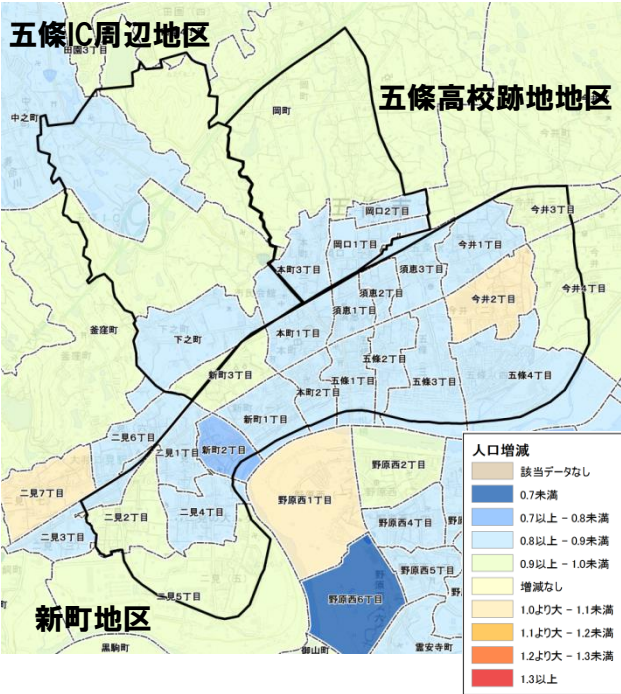
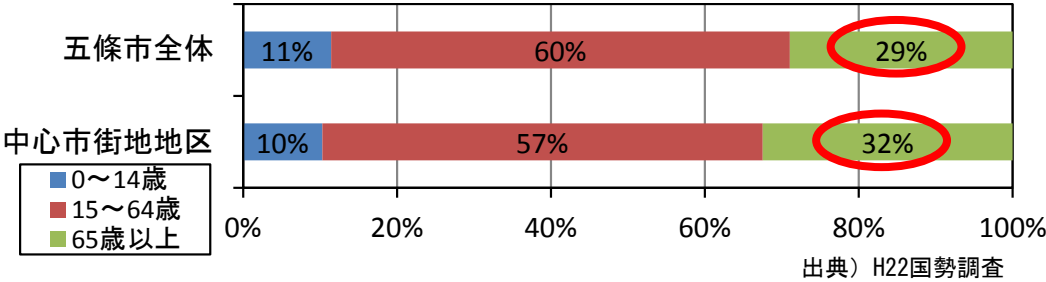
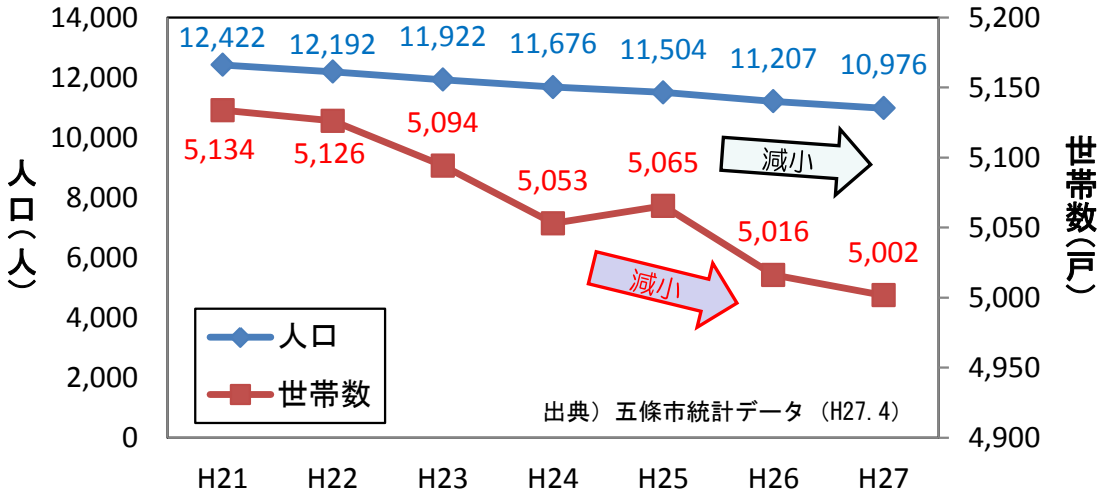


図 都市機能構造図（都市計画マスタープラン）

人口動態

- ◆平成27年の中心市街地地区の人口は10,976人、世帯数は5,002世帯で、平均世帯人員2.19人となっている。
- ◆人口及び世帯数は平成21年から減少の一途をたどっており、平成21年を基準とした平成27年の増減率をみると、人口は-11.6ポイント、世帯数は-2.6ポイントとなっている。
- ◆高齢化率は、五條市全体の29%に対して、中心市街地全体では32%となっている。
- ◆地区別にみて人口減少が著しいのは、新町地区となっている。五條市周辺において世帯数の減少が著しいが、中心市街地縁辺部では世帯数は増加している。



出典) 五條市統計データ (H27. 4) より作成

五條中心市街地地区の課題（１）

課題1 京奈和自動車道開通に伴う観光客（国内、国外）増加に対する受入体制の不足

京奈和自動車開通により
関西国際空港からのアクセ
スが容易になる。

滋賀県
京都府
奈良県
和歌山県
三重県

関西国際空港
五條IC

世界文化遺産
世界文化遺産(参詣道)
世界文化遺産が含まれる地域
京奈和自動車道に1時間で
到達可能地域

外国人観光客の訪奈目的

世界遺産や自然・景
観、歴史を目的に奈
良を訪れる外国人観
光客が多い。

出典)奈良県外国人観光客実態調査(H24)

映画のロケ地となり、聖
地巡りをする外国人が増
加すると想定される。

映画「ひと夏のファンタジア」

課題3 人口減少（特に生産年齢人口）による地域活力の低下

人口は減少の一途を辿る

10年後、人口構成の山が、後期高齢者になる

図 総人口の推移（実績値、推計値）

図 年3段階別・人口構成比率

図 五條市の人口ピラミッド（平成27年10月1日時点）

出典) 五條市老人保健福祉計画及び
第6期五條市介護保険事業計画

生産年齢人口が減少、高齢人口が増加

出典) 五條市人口ビジョン（H27.10）

課題2 観光客（国内、国外）に対する観光資源のPR、案内サイン不足

問 歩行者への案内について

・社会実験で設置した案内サインが「役だった」、「やや役だった」が約6割の結果から現状では案内が不足

4-4：案内サイン（別シート参照）に掲載された情報について、お答え下さい。

【施設の方向】

「①役立った」と「②やや役立った」を合わせると6割を超えている。

■ ①役立った
■ ②やや役立った
■ ③普通
■ ④あまり役立たなかった
■ ⑤役立たなかった
■ 無回答

大和二見駅に着いても、五條新町への行き方がわからない…

出典) 社会資本整備総合交付金事業（道路環境・効果促進）第1-C111-7-委1号（H27.3）

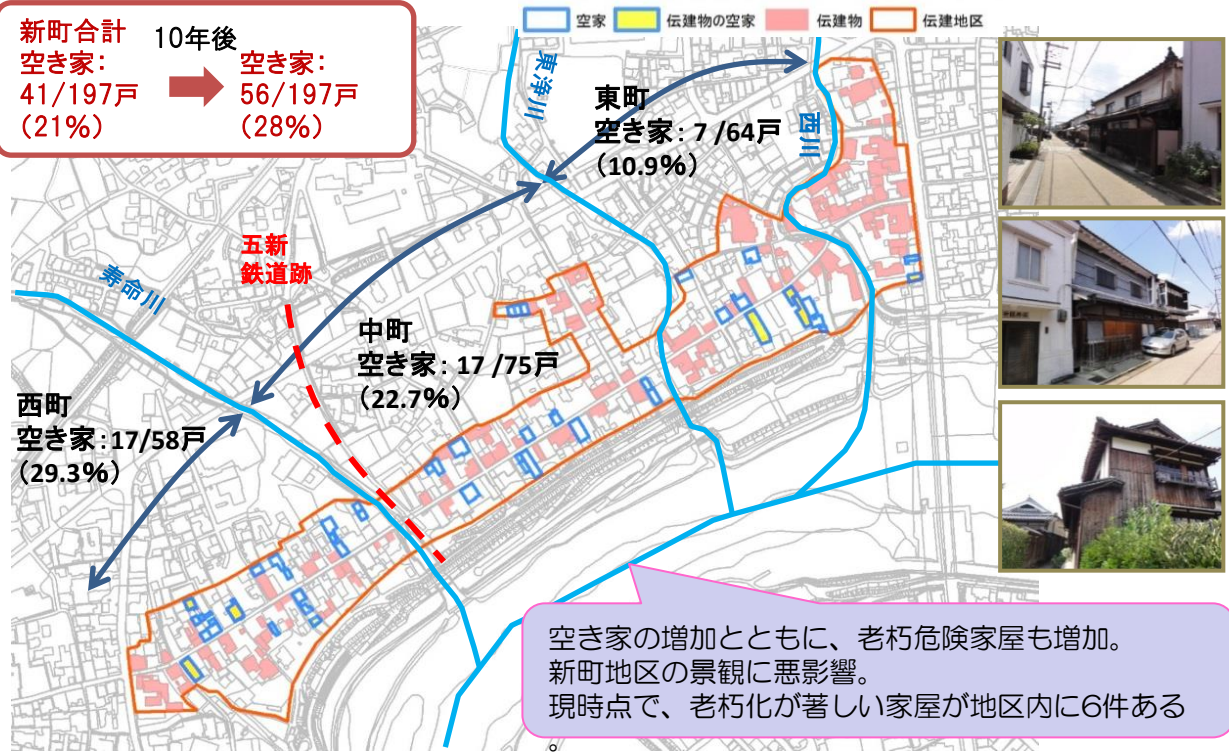
シャッター通り化した商店会

中心商店街の人口はH27/H21で概ね10～20%減少

人口増減

人口増減
該当データなし
0.7未満
0.7以上 - 0.8未満
0.8以上 - 0.9未満
0.9以上 - 1.0未満
増減なし
1.0より大 - 1.1未満
1.1より大 - 1.2未満
1.2より大 - 1.3未満
1.3以上

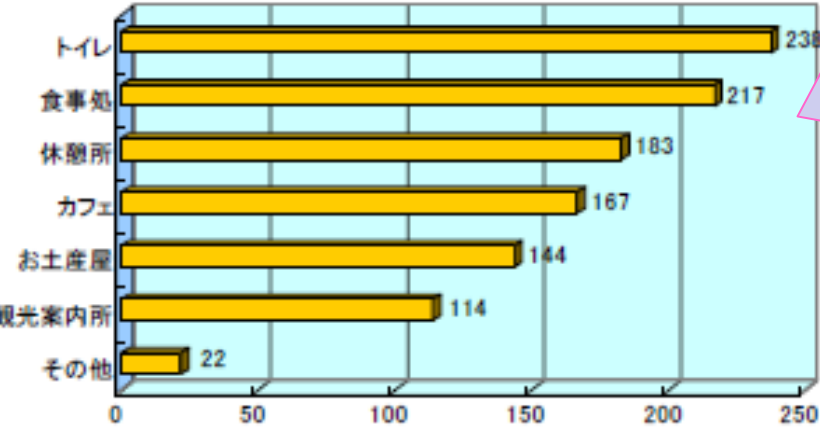
課題4 新町地区における魅力の低下（空き家の発生）



課題5 新町地区における休憩施設が不足

問 新町周辺にあったらいいなと思う施設は？

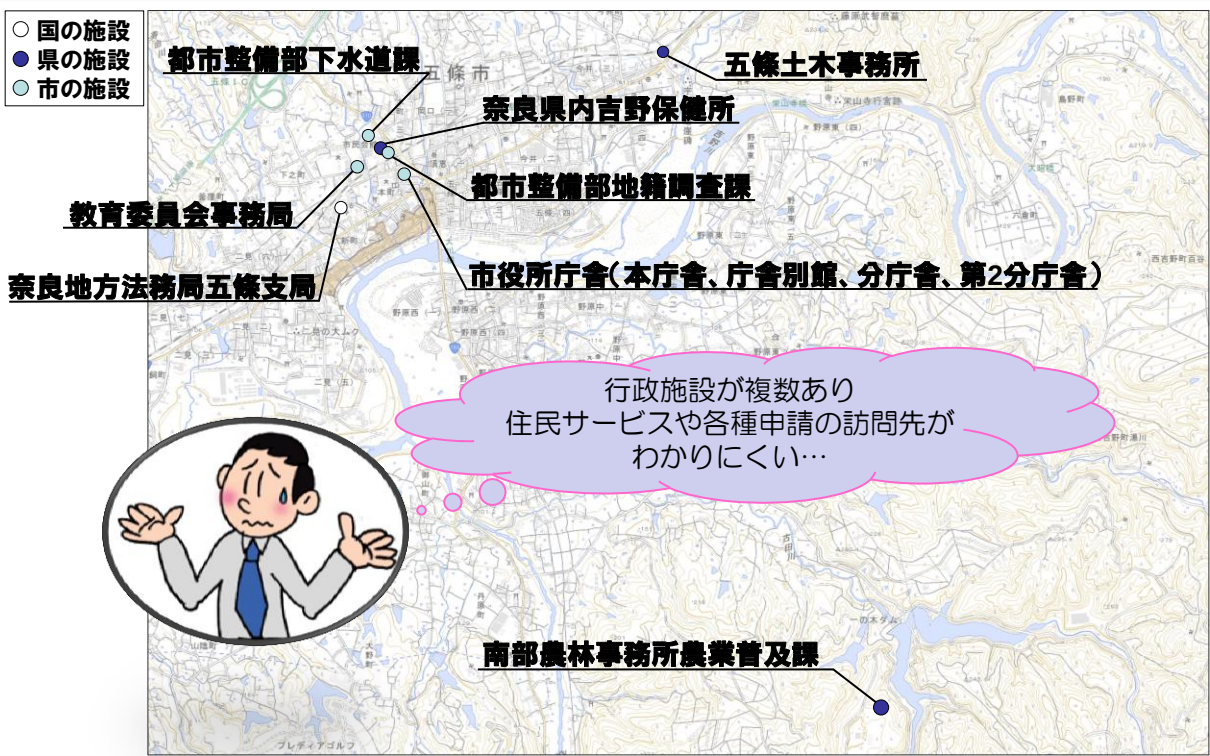
- 「トイレ」が最も多く、当日の来訪者数に比べて、仮設トイレを設置したものの不足している
- 次いで、日陰があり、ゆっくりくつろげる「食事処」、「休憩所」、「カフェ」が望まれている



新町を含めた周辺エリアにおいて、トイレや休憩場所が整備されているものの、案内が不十分。
トイレや宿泊施設、食事場所などの位置も認知されていない。

（出典）五條市まちづくり構想-かげろう座来訪者アンケート調査 H24.6

課題6 公共施設の分散配置により、ワンストップサービスが提供できない＋老朽手狭な施設による行政サービスの非効率



課題7 拠点性の低い五条駅及び休憩施設が不足の大和二見駅



五條中心市街地地区の課題（3）

課題8 公共交通のサービス水準が低い

路線バス(奈良交通)の運行状況

路線(系統)	市内の主な 経由バス停	運行便数(便/日)		備考
		平日	土休日	
1 新宮駅～八木駅[特急]	五條駅、五條BC	3.0	3.0	
2 十津川温泉～五條BC	五條駅	3.0	2.0	平日1便は県立五條病院経由
3 五條BC～八木駅		2.0	2.0	
4 五條BC～近鉄高田駅		11.5	12.0	
5 五條BC～忍海		1.5	1.0	
6 五條BC～大淀BC	東阿田	2.5	1.0	
7 城戸～五條BC	五條駅	4.5	2.0	平日1便は県立五條病院経由
8 専用道城戸～五條BC	五條駅	4.0	1.0	
9 西吉野温泉～五條BC	専用道城戸	1.5	-	
10 野原循環	智辯学園、県立五條病院前	1.0	1.0	
11 五條BC～テクノ線	国道三在、テクノ情報センター	1.0	0.5	休日運行なし
12 近鉄高田駅～テクノ線	小山、テクノ情報センター	0.5	0.5	休日運行なし
13 五條BC～五條駅北口	田園五丁目、田園四丁目	8.0	9.5	土休日の1便は土曜のみ、1便は休日のみ
14 五條駅北口～田園五丁目		3.5	2.0	土休日の0.5便は土曜のみ
15 五條駅北口～田園四丁目	田園三丁目	3.0	1.0	

※運行便数は片道の便数
※BC：バスセンター

■デマンド型コミュニティバス
各路線で方向別に各3便を運行
するのみ（平日のみ）



■デマンド型乗合タクシー
多くの路線で方向別に各3便/日を
運行するのみ（平日のみ）



出典：第3次五條市地域公共交通総合連携計画（H26.3）

「五條バスセンター～近鉄 高田
駅」が 11.5 便/日、「五條バス
センター～五條駅北口」が 8 便
/日以外は1～4便/日程度。
また、平日に比べ
て休日の運行便数
が少ない路線がある。

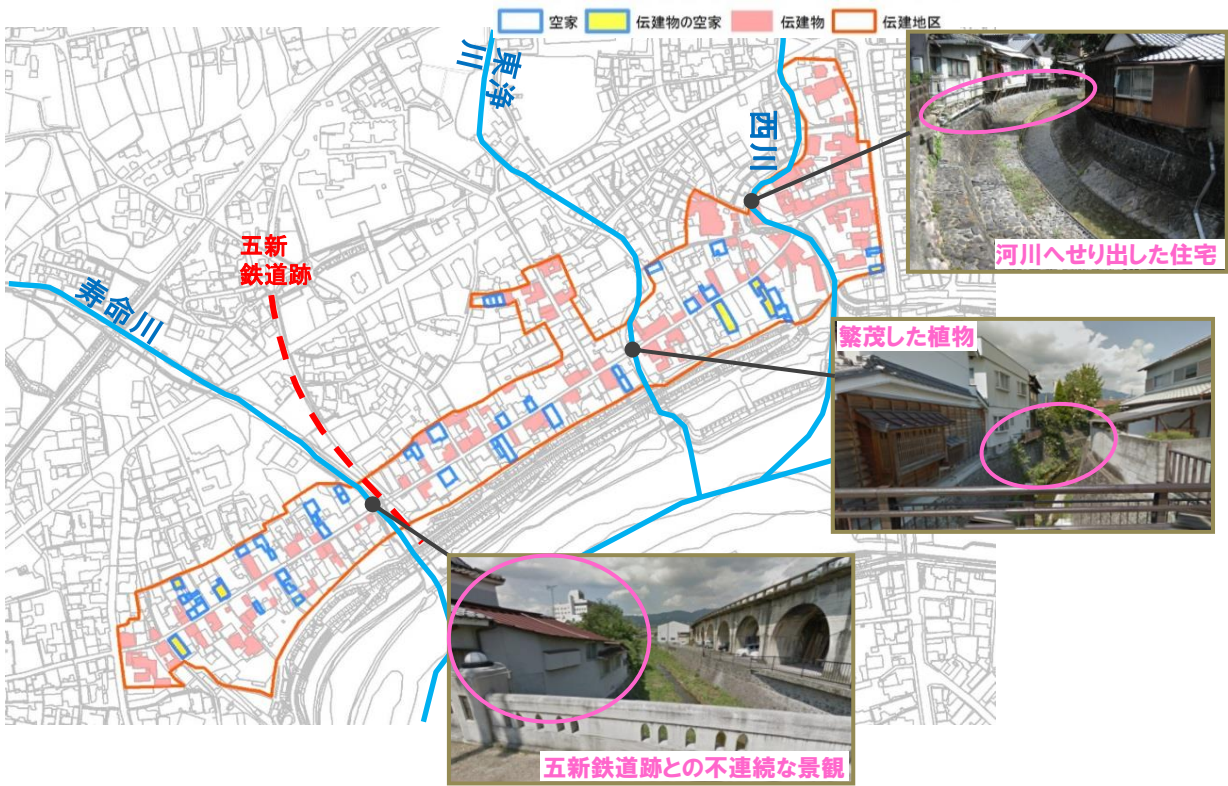


■コミュニティバス
多くの路線は午前と
午後に各1便/日を
運行するのみ
（一部土曜日運行）

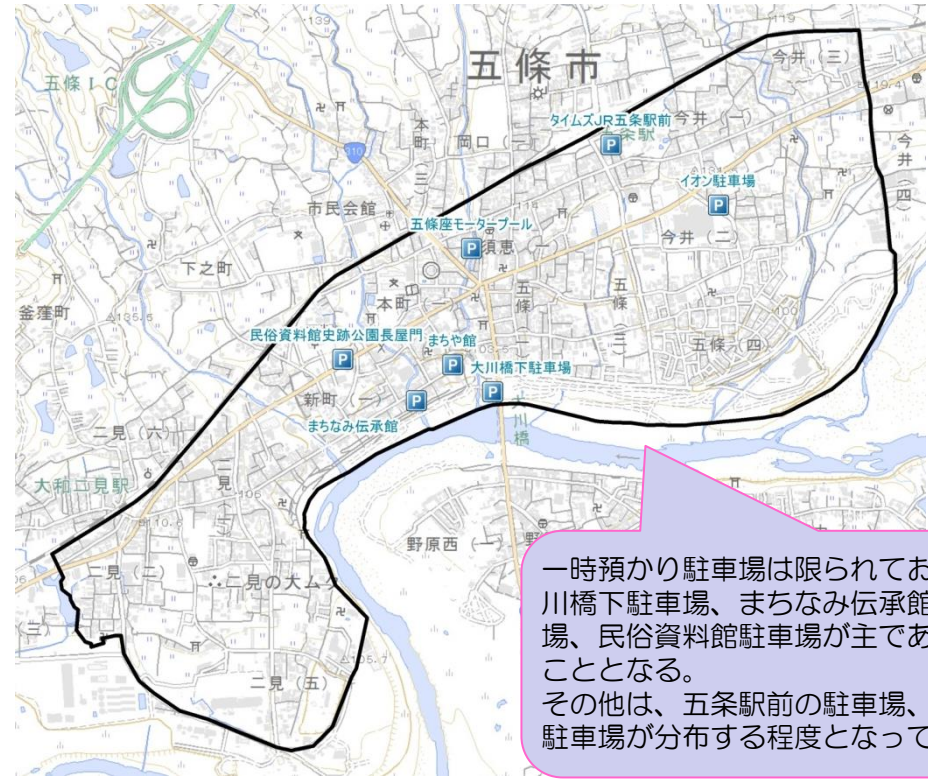


資料：奈良交通

課題9 新町地区における河川景観の維持が不十分



課題10 新町地区における一時預り駐車場が不足



一時預かり駐車場は限られており、新町周辺では、大川橋下駐車場、まちなみ伝承館駐車場、まちや館駐車場、民俗資料館駐車場が主であり、観光客が利用することとなる。
その他は、五條駅前の駐車場、イオン利用者のための駐車場が分布する程度となっている。

課題11 五條らしい土産物を手に入れる所が無い



新町地区内には来訪者が買物をする店舗などが極めて少ないことから、土産物屋等の整備が必要

五條市職員の声（出典：五條中心市街地地区の整備について）



まちづくりの方針

まちづくりのテーマ
～新たな中南和の玄関口の顔づくり～

- 《取り組みテーマ》
- ①五條 I C 周辺：中南和・五條のゲートウェイ機能の強化
 - ②五條高校跡地周辺：シビックコアの形成と周辺地域の活性化
 - ③五條新町周辺：古の五條を体感できるまちなみの維持と交流機能の強化

- 平成28年度に供用見込みの京奈和自動車道の開通に伴い、中南和地域、五條市への人の流れが大きく変化
来訪者が地域の魅力を体感し、改めて訪れてみたくなるよう、また、居住者がまちに誇りを持てるよう、官民一体となって、五條市の持つ価値の維持、活用・改善により、地域の資源や魅力を高めるとともに、個性として伸ばすもの
- 中心市街地地区には公共施設が点在して、市民へのサービスが低下しているとともに施設の老朽化も著しく、これらの課題の解決が急務
公共施設の一元化と施設の更新により、地域住民の交流や住民サービスを充実させるもの

分類	ゾーン	課題・問題点	維持 活用改善 取組体制	対応する方針
受入体制不足	中南和・五 條の玄関口 ゾーン	◆ 京奈和自動車道が平成29年3月に供用を予定しており、交通の流れが大きく変化するものの、来訪者への案内・誘導や情報発信が不十分でそれらを提供する施設が十分ではない。	活用・改善	● インバウンドを含む広域観光者を呼び込む「中南和の中核・五條のゲートウェイの構築（道の駅）」 ● 古から未来に繋がる「五街道の結節点の顔づくり」
不便な公共交通		◆ 中心市街地地区を含めた公共交通サービスが不足しており、拠点間を巡るバスなどのネットワークが形成されていないなど、脆弱となっている。 ◆ 鉄道利用時の駅前広場や階段の段差など、快適性・利便性が十分となっていない。 ◆ 交通の結節機能（ターミナル、駐車場）が十分とはなっていない。	活用・改善	● 五條の賑わいの拠点となる「円滑な移動空間の演出」（五条駅）
中心市街地の活力低下	古の五條に 触れるゾー ン	◆ 高齢化、人口減少が続き、中心市街地の空洞化、商店街のシャッター通り化などにより核となる施設が歯抜け状態となっている。 ◆ 新町を含めた周辺エリアへの案内が不十分なほか、トイレや宿泊施設、食事ができる場所などの案内が不十分。	維持 活用・改善	● 五条駅～五條新町～吉野川～大和二見駅を結ぶ「周辺地域の回遊演出」
次世代の担い手不足、老朽化家屋の維持管理		◆ 新町には数多くの文化的資源が多く残っているが、空き家が目立ちはじめ老朽・放置された家もある。 ◆ 新町の良さを継承できる人材が育成できていない。 ◆ 新町地区内での河川部分などにおいて景観の維持が十分ではない。 ◆ 歩行者や自転車利用者にとって休憩できる場所がない。	維持 活用・改善	● 五新鉄道や維新発祥などの「歴史・文化に出会える空間づくり」 ● 五條新町の「歴史・文化の根付く環境づくり」や「魅力ある空間づくり」 ● 吉野川祭りや五條探訪の舞台となる「川と触れ合う空間づくり」
交流、賑わい不足		◆ 五條の歴史を語り、文化を継承する拠点施設がない。 ◆ 五條の主要産業である農業・林業が衰退している。 ◆ 五條らしい土産物を手に入れるところがない。 ◆ 県民、市民の観点から憩えるオープンスペースや眺望スポットがない ◆ 回遊の拠点となる大和二見駅における交通や便益機能が十分とはなっていない。	維持 活用・改善	● 来訪者にとって思い出づくりができる「魅力ある空間づくり」「商店街の賑わいの復活」 ● 休憩施設が整った「人に優しいターミナルの確保」（大和二見駅）
		公共サービス充実ゾーン	◆ 五条駅北側の賑わいがない。	活用・改善
公共施設		◆ 公共施設が点在し、移動に時間がかかるほか、災害時には機動力がきかない。 ◆ 公共施設立地の適正規模、災害時の初動としての国と県との連携が必要（平成23年紀伊半島大水害の経験） ◆ 公共施設が老朽化し、一斉の更新を迎えつつある。	活用・改善	● 「お年寄りが安心して暮らせる住まいの確保」（有家住宅） ● ワンストップサービスを提供できる「行政機関を集約した市民開放型のシビックコア形成」

五條中心市街地地区まちづくりイメージ



五條中心市街地地区まちづくり構想図 ～新たな中南和の玄関口の顔づくり～

京奈和自動車道(橿原市～和歌山市間)が平成28年度に供用を予定しており、中南和・五條市への人の流れが大きく変化します！

中南和・五條の玄関口ゾーン (五條IC周辺)

○中南和の中核・五條のゲートウェイ構築(道の駅)

- ・五條を学び、五條に触れ、五條を楽しむステーション(情報の発信拠点)
- ・公共交通の発着拠点

○五街道の結節点の顔づくり

- ・本陣交差点の安全確保と顔づくり



○歴史・文化に出会える空間づくり

- ・歴史展示の展開(文化施設も含む)
- ・サブターミナル機能の検討

○歴史・文化の根付く環境づくり

- ・五條新町地区内住民の交流のきっかけづくり
- ・語り部や観光ガイドによる地域案内



○人に優しいターミナル機能の確保

- ・大和二見駅前広場の整備
- ・駅周辺の歩行者動線の確保(踏切含む)
- ・トイレ整備

○川と触れ合う空間づくり

- ・吉野川の水辺空間づくり
- ・古の地域の川づくり



○交流の場づくり

- ・マルシェ出店



公共サービス充実ゾーン (五條高校跡地周辺)

○お年寄りが安心して暮らせる住まいの確保

- ・老朽化した市・県営住宅の再整備
- ・空家活用等によるお年寄りの住宅誘導

○安心して移動できる環境づくり

- ・市内の拠点巡回バスの運行検討

○行政機関を集約した市民開放型のシビックコア形成

○賑わい・交流の場づくり

- (五條高校跡地の有効活用)
- ・国及び県の出先機関と市庁舎等の集約
- ・駅前広場や賑わい広場でのマルシェ実施



○円滑な移動空間の演出

- ・駅前広場、周辺道路の整備

○商店街の賑わいの復活

- ・駅前マルシェの実施
- ・空き家・空き施設の活用によるカフェ・レストラン等の誘致

○五條駅～五條新町～吉野川～大和二見駅の回遊演出

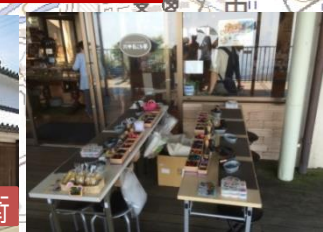
- ・案内板、トイレ、休憩スペースの整備



古の五條に触れるゾーン (五條新町周辺)

○五條新町の魅力ある空間づくり

- ・空き家・古民家の利活用
- ・駐輪場・駐車場・休憩スペース(カフェ)の整備
- ・体験型土産屋の整備
- ・電線地中化の検討



大野屋

源兵衛



0 125 250 500 750 1,000 m